短歌

★一首ごとに一行あける

書き出しは五行目から

題

〈〇〇・・中〇年〉

氏名

残暑にうだる寝苦しさ夜もやうやうに明け近づきてひぐらしを聞く

るけ近くひぐらし聞きて束の間の安き朝寝をむさぼりなむか

俳句

★一句一行に書く

★一句ごとに一行あける

書き出しは五行目から

題

〈〇〇・・中〇年〉

氏名

春風や牛に引かれて善光寺

我星はどこに旅寝や天の川

しづかさや湖水の底の雲のみね

川柳

★一句一行に書く

★一句ごとに一行あける

書き出しは五行目から

題

〈〇〇・・中〇年〉

氏名

迷うことなく我先に撮影し

カメラから覗いた妻は他人顔

セールスマンハンコを押させてニンマリし